



秋田東ロータリークラブ

# 輪 と 和

初代会長 最上義広 筆



ロータリーは機会の扉を開く

2020-2021年度

会長 相場宏泰 幹事 金子雄司  
例会場 秋田ビューホテル  
例会日 月曜日 12:30~13:30  
事務局 秋田市中通2丁目6-1 秋田ビューホテル内  
TEL018-833-5369 FAX018-833-5393

2020年12月7日(曇)  
第2843回例会(第15回)

NO. 2377

## 次 第

司会 ; 山陰逸郎 副幹事  
相場 宏泰 会長

1. 点 鐘

\* 「君が代」、「奉仕の理想」、「ロータリーの目的」唱和は、  
コロナウイルス感染防止のため割愛

2. 来訪ロータリアン・ゲストのご紹介

三浦征善副会長

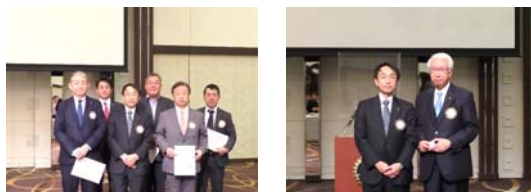
大曲RC 加賀 美奈 会員

3. 12月の誕生・結婚祝

神 直人 親睦委員  
乾杯 ; 加藤 俊介 元会長

4. お食事の時間

5. 会長の時間



相場 宏泰 会長

\* 2021-2022年度 地区役員委嘱状の交付

6. 幹事報告

\* 藤井明元会長へ30年連続在籍賞の贈呈

金子 雄司 幹事

7. ニコニコニュースの時間

猪又啓一朗委員長

8. ロータリー財団寄付報告

佐々木克巳委員長

藤井明元会長 \$150 合計\$3,720 小林和彦会員 \$150 合計\$570  
小泉徹会員 \$150 合計\$360 笹淵一史会員 \$150 合計\$360

9. 今日のワンポイントロータリー

境田 未希 委員長

10. ゲストスピーチ

紹介 ; 金子 雄司 幹事

ゲスト ; 1990年 交換留学生 鈴木 亜希 氏  
テーマ ; 「私の留学経験」



11. 点 鐘

相場 宏泰 会長

## ◎ゲストスピーチ



### 「私の留学経験」

1990年 交換留学生  
鈴木 亜希 氏

皆さん、こんにちは。鈴木亜希と申します。私は今から約30年前、こちらの「秋田東ロータリークラブ」さんにスポンサーになっていただき、ロータリーの交換留学生として、オーストラリアのシドニーに1年間留学しました。30年も前の話ですので、忘れてしまったことも多く、留学の状況も今は大分変わってきていると思いますので、あまり参考にならないかもしれませんが、秋田東ロータリークラブには大変お世話になりましたので、感謝の気持ちを込めてお話させていただきます。

そもそも、私が留学しようと思ったのは、私の父が秋田東ロータリークラブの会員だった当時、初めてホスト家族として「ゲイブリエル・ニコル」と「リサ・ウォームズリー」を受け入れたことがきっかけです。国際交流とは無縁だった我が家でしたが、留学生を受け入れたことで、考え方が一変しました。外国の文化についていろいろと学んだことももちろんですが、それ以上に一人の人間として、私たち家族はリサとゲイブが大好きで、外国という大きな壁が取り払われて、オーストラリアがとても近い国のように感じられました。そして、私も彼女たちと同じような経験をして、実際にオーストラリアの文化に触れてみたいと考えました。また、日本の家族と1年離れて過ごすという、大きなチャレンジをしてみたいとも思いました。そして、高校1年生の夏に選考していただき、高校1年の3月にオーストラリアのシドニー郊外の地域へ派遣されることが決定しました。

では、オーストラリアでの経験についてお話ししていきます。当時自分で撮った写真と、そして1年間つけていた日記を発見しましたので、どのような経験をして、どのような気持ちで過ごしていたのか、日記の文面を引用しながら紹介します。

まず、ホストファミリーでの経験をお話します。

留学中は3ヶ月ずつ、4つの家族にお世話になりました。加えて、とりわけ私の面倒を見てくれた、カウンセラーの家にも最初と最後の1ヶ月くらいお世話になりました。

1家族目のホスト家族は特別に私の家でホストした、ゲイブリエルの家族でした。留学して1ヶ月ほどした頃、このような日記を残しています。

「<4月15日> 今日初めてMumとDadにおやすみのキスをした。なんだか照れくさかったけど。Mumははっきり言って理屈っぽくて疲れる。だけど私たちのために一生懸命なんだ。今まで私は無条件でかわいがってもらえると思っていたかもしれない。でもそれは間違い。心を開いて努力しなければ、特に異国から来た私なんて本当にはかわいがってもらえないはず。日本の両親には本当に一番感謝している。私をここまで育ててくれたこと、私をいつも応援してくれること。つべこべ言わず、温かく見守ってくれること。本当に幸せです。」日記

---

には、日本にいた頃は言葉にすることがなかった家族への感謝の気持ちがたくさん綴られていました。

3家族目のボルトン家には妹と弟がいて、特に温かい家族でした。ただ、留学9ヶ月目にこんなことを書いています。

「<12月6日> すごく自己嫌悪。一番言わないって決めていたのに、今日、Mumに『この家族が一番だと思う』と言ってしまった。後悔している。お世話になっているいくつかのホストがどんな家族であっても、それは優劣ではなくて違い。それぞれの家族を比べることは、絶対にしないようにしようと心に決めていたのに。私は最悪。」家族は比べない、と心に決めていたのですが、それに反した言動をしてしまい、自己嫌悪に陥っています。

4家族目はそれまでとは感じが違っていました。ホストファザーはスイス人で自国にいて不在、ホストマザーはドイツ人。ホストシスターは、中国人を両親に持つオーストラリア人でこの家族の養子でした。馬の獣医をしている家族でした。

「<2月1日> ボルトン家にいた頃の心境と全く違う。マーシャもアナリーも馬、馬、馬でとても忙しいし、私がMumと呼ぶことを拒否した。学校から帰ったらいつも暇。一人でいることが多いし。しかも私のベッドで犬がおねしょしている!!!嫌だ!!!」

それまでとあまりにも環境が違い、前のホスト家族へのホームシックを経験したようでした。でも、1週間後にはこのように綴っています。

「<2月7日> マーシャとたくさん話した。少しずつお互い理解していっていると思う。放課後は馬の糞掃除を進んでやることにした。私は謙虚さが足りなかった。マーシャやアナリーを傷つけるところだった。」馬を何頭も世話していたため、自分から進んで糞の掃除をすることにしました。かぞくの一員として手伝いをする中で、お互い理解できるようになっていったようです。

学校生活についてお話しします。日本の大学のように、必要単位数を満たすように教科を選んで自分で時間割を編成しました。

ENGLISHのクラスは習熟度別で、私は一番下の男子ばかりのクラスで勉強しました。こんな出来事がありました。

「<5月29日> 今日は最悪の日。Englishの時間、初めて男の子に、“Do you have a glue?”と話しかけられた。私は単語の意味が分からなかったこともあり、からかわれたと勘違いしてその子をにらんでしまった。「のり、持ってない？」と聞かされただけなのに。いつも笑いかけてくれる人だったのに、不機嫌になってしまった。英語が話せない自分が悔しい。そして本当に上手になるのか、不安です。」

通学バスの中や校内でも、少し馬鹿にしたような言動が男子生徒からあったので、疑心暗鬼になっていたかもしれません。

授業は100%理解できない授業も多かったのですが、それだけに、参加できたときはうれしかったです。Society and Culture（社会と文化）やHome Science（家庭科）の授業では日本のことを紹介する機会を度々与えてもらいました。

「<8月20日> 学校のSociety and Cultureの授業で、小さい頃聞いた物語について聞かれた。先生は日本とオーストラリアの社会の違いについて知ってもらいたかったらしい。日本はお年寄りを敬う社会であることを伝えたく「姥捨て山の月」の話をした。下手くそな英語で恥ずかしかったけど、みんな一生懸命聞いてくれて、理解してくれた。今日授業に参

---

---

加できて、何よりうれしかった。」

次に留学生としての活動についてです。ロータリーの国際交流活動として、968 地区と 971 地区の留学生 13 カ国、50 人以上が集まり、バスで 3 週間旅行しました。日本人留学生はまだ 1 ヶ月しか経っていなかったのも、コミュニケーションがとれず、苦しかった思い出です。日記を紹介します。

「<4 月 30 日> 留学ってこんなにつらいものなのか。サファリ旅行は自分なりに楽しもうと思っていたけど、そううまくいかない。英語がまだ話せないから、みんなから嫌がられるのではないかとどこかで恐れている。バスから見える景色は果てしなく続く草原で、素晴らしい。でもここは日本じゃないと思うと、寂しくて涙が出そう。でも、泣きたくても泣けなくて、頼りたくても頼れなくてつらい。」ホームシックですね。

サファリ旅行中、各国の留学生から発表する、コンサートがありました。

「<5 月 2 日> サファリのコンサートでけん玉をやって好評で、たくさんの方が興味を持ってくれた。けん玉にこんなに興味を示してくれると思わなかったから、いろいろ考えた。日本にはたくさんの伝統、ユニークな習慣がある。その伝統文化を通して、もっともっと外国との交流を盛んにすべきだ。日本について知っている人は少ない。私は日本が大好きだから、今日つくづく、もっと日本を理解してほしいと思った。」 気にすることがなかった日本文化が外国の人たちにはとても珍しいようで、けん玉や盆踊り、折り紙などとても好評でした。

さらに、International Night などで、日本のことを紹介する機会がたくさんありました。新聞にも取り上げていただきました。このときは日本の「衣・食・住」について紹介しました。日本の家族に「衣・食・住」に関するたくさん写真を撮ってスライドにしてもらい、発表しました。やはり珍しいらしく、とても好評でした。

最後にホストロータリークラブの「テリーヒルズロータリークラブ」についてです。会員は 32 名で毎週火曜日の夜の例会があり、私も出席しました。また、「ホスピタリティーイーブンング」といって、ホスト家族以外のロータリアンたちが、金曜日の夜、または週末泊まりがけで私を招待してくれ、食事をごちそうになったり、時にはキャンプや水上スキー、セイリングなど様々な体験をさせてくれました。家族ぐるみでみんな仲が良かったという記憶があります。ロータリアンには本当によくしていただきました。

1 年の留学を終えて、心も体も大きくなり帰国しました。オーストラリアを出発する直前に書いた日記です。

「ついにこの日がやってきてしまいました。今、心からいえることは、この 1 年間は私自身にとって言葉では言い尽くせないほどの価値があるものだったこと。そしてその価値のほとんどが、人との関わりから生まれたものだったこと。今はこれからの人生、自分のできる限り全力を尽くして生きていこうと感じる。そういう思いにさせてくれたのは、オーストラリアのホストファミリー、FRIENDS、ロータリアン、そして日本の家族と友達、ロータリーの方々。皆さんのおかげです。本当に有意義な 1 年だった。また新しい人生の門出です。皆さんに心から感謝します。」当時の私は、すごくバイタリティーにあふれていました。日本に着

---

---

いてから真っ先にそばを食べ、秋田の家に到着してからゆっくり湯船につかりました。

最後に約 30 年前を振り返ってみて、今思うことをまとめます。

留学中の私のポリシーは、「郷に入っては郷に従え」でした。できるだけオーストラリアの人々と同じように過ごしました。生活様式、食生活はもちろん家族に合わせ、パーティーなどにも積極的に参加しました。そのためにオーストラリアの文化、人々に親しむことができましたと思います。ロータリーの方々やホスト家族には本当にかわいがっていただいたと思います。同時に自分は日本人だなあ、と実感する 1 年でした。自分の家族や友達のありがたさはもちろんですが、日本の文化や生活様式はユニークで、魅力的なものがたくさんある、ということが分かりました。

そして留学の意義についてです。今では大学在学中に留学する学生はたくさんいますが、高校での留学は内容が大きく異なります。大学での交流が「知の交流」だとすると、高校での交流は、「情の交流」だと考えます。今回、日記を全部読み返してみて、これを強く感じました。外国の文化を知る、とか英語を学ぶの、というのは副産物的なもので、何よりも高校生であった私の気持ちがとても豊かになったように思います。悲しかったり悔しかったりつらい経験もありましたが、感謝の気持ちや謙虚な気持ち、家族や友達を愛する気持ちがより強まったと思います。高校生という多感な時期にこのような経験をさせていただいたことにもう一度感謝を申し上げて、私の発表とします。ありがとうございました。

#### <プロフィール>

秋田市生まれ。秋田高校在学中の高校 2 年次、ロータリー交換留学生としてオーストラリアで 1 年間過ごす。東京外国語大学英米語学科卒業後、秋田県立高校の英語教員となる。角館南高校、本荘高校、能代北高校、能代高校勤務を経て、現在二ツ井高校勤務。夫、長女（高 3）、長男（中 1）と能代市に暮らす。

#### ◎12 月誕生祝

・会 員	・夫 人
5 日 齋藤 秀光 会員	9 日 佐藤 規博 夫人
19 日 中村 純也 会員	11 日 田口 清光 夫人
24 日 大槻 秀己 会員	14 日 平澤 孝夫 夫人

#### ◎12 月結婚記念祝

8 日 佐々木克巳 会員	
12 日 小西 和也 会員	※20年…磁器婚式
23 日 谷口満州美 会員	※30年…真珠婚式
24 日 小畑 宏介 会員	

---

【例会変更】

- ・秋田南RC … 12月31日（木） 休会
- ・秋田RC … 1月6日（水） //

【お知らせ】

- ・2021年6月12日から開催される台北国際大会は、現行の12月15日までの割引登録料365米ドルが、2021年2月15日まで延長されることになりました。尚、台北国際大会の対面での開催については、来年1月末のRI理事会にて再度検討されます。
- ・次週12/14は年次総会が開催されます。ご出席の程よろしくお願いたします。

【到着】

- ・ロータリーの友 12月号
- ・ザ ロータリアン 12月号
- ・ガバナー月信 12月号

相場 宏泰 会長

ブラウブリッツ秋田の優勝とJ2昇格おめでとうございます。

藤井 明 元会長

- ①11月10日、公益社団法人 秋田南法人会 70周年記念は無事盛会裡に終了しました。  
多くの東RC会員にご支援いただきありがとうございました。
  - ②11月17日、秋田南税務署において2020年度国税庁長官表彰をいただきました。
-

---

◎12月理事・役員会

1. 退会の受理

氏名 ; 齋藤 寛之  
勤務先 ; (株)秋田フードセンター  
役職 ; 代表取締役  
職業分類 ; 総合小売業  
理由 ; 一身上の都合

氏名 ; 齋藤由貴美  
勤務先 ; (株)ナイス  
役職 ; 執行役員  
職業分類 ; スーパーマーケット  
理由 ; 一身上の都合

2. 12月の例会開催について

12月19日(土)「クリスマス家族会」 → 中止

3. 1月例会プログラムについて

1月4日 特別休会(3回目)  
18日 ゲストスピーチ (株)せん 松岡 勸美氏

4. 例会変更「ファイヤーサイドミーティング・新年会」について

日時 ; 2021年1月25日(月) → 昼例会に変更  
場所 ; 秋田ビューホテル

5. 下期徴収金について

90,000円  
(内訳) 会費 1月~6月分 90,000円

\*夜例会会費、財団寄付、米山寄付は希望者のみ加算

6. 11月末残高試算表

---